

とうねい



寒い朝

真鶴岬から昇った朝日は、一日の始まりで
朝焼けと共に、見違える様なオレンジの色合いに思わず息を呑み、
不思議な雰囲気になりました。

フォトサークルA 村田 義一

●目次

寒い朝	1P	歳時一覧	5P
新年のごあいさつ	2P	第2事業部	6P
理事長 野村 直樹		20周年記念勉強会を開催しました	
院長 山下 巖		～居宅介護支援センター	
「超高齢社会における医療・介護・福祉を	3P	働く仲間	
考えるシンポジウム」開催		リハビリ通信「生活不活発病とは…」	7P
クリニカルパス大会		糖尿病教室	
かけはし ～登録医紹介～	4P	忘年会	
在宅懇談会		ペットのはなし	8P
内視鏡センターだより		編集後記	
		関連施設一覧	



あけましておめでとうございます



三思会 理事長
野村 直樹

新年あけましておめでとうございます。新しい令和の時代も2年目となりました。新しい天皇を象徴とし、初めての新年を迎えました。明るく、晴れやかな年になることを願っています。

まずは旧年中、多くの皆様からご支援、ご指導を賜りましたことを心より御礼致します。さて、昨年も災害の多い年でした。地震だけではなく、台風による風と雨の被害、そして停電。厚木でも相模川の決壊、氾濫を想定した恐怖も経験しました。災害に対する対策は、かわるべきすべての地域の方々の参画のもと、十分な連携を持ちシミュレーションしていかなくてはならないと思っています。当法人においてもしっかりとした組織的なシステムの下に、地域の方と連携し、対応していきたいと思っています。

東名厚木病院（第一事業部）は従来からの救急医療の第一線の役割に加え、糖尿病を中心とした生活習慣病への対応、そして地域のがんの拠点的な活動等を推進してまいりました。また介護施設（第二事業部）を中心に、厚木市の提唱

する地域包括ケア社会づくりにもお手伝いできてきたものと思っています。超高齢化社会における社会保障の脆弱はまさにこれからであり、この令和の時代に我々が新しいシステムを作り、次世代につなげていくべきものと考えます。健診センター（第三事業部）では神奈川県未病プロジェクトとも連携をし、がんをはじめとした疾病の早期発見、特に今後増加する乳がんの早期発見に力を入れてまいりました。透析部門（第四事業部）では増加する腎臓疾患への早期対応に尽力するとともに、透析になった方たちには船子の本院に加え、愛川町、綾瀬市の三つのエリアでたくさんのお客様を拝見させていただいております。とうめい厚木クリニック（第五事業部）は地域連携の窓口としての幅広い役割を担っています。

昨年2月には念願でありましたミャンマーにて医療機関を開院することができました。日本で初めてミャンマー国に認定いただいた医療機関として健診、ドックとともに外来診療を行っています。YJMC (Yangon Japanese Medical Centre) と命名しました。ミャンマーにて信頼される組織として成長することを期待しています。

自然環境、社会環境はめまぐるしく変化しています。しっかりと地に足をつけ、連携し、継続した責任ある地域医療に尽くすことを心して、新年のご挨拶にかえさせていただきます。



東名厚木病院 院長
山下 巖

新年あけましておめでとうございます。今年も皆様にとって良い年になりますように心よりお祈りしております。

東名厚木病院は地域医療支援病院として様々な役割を果たす中、昨年も救急医療とがん治療に力を入れました。特に、がん治療は地域医療構想のもと、心筋梗塞や脳血管障害などと同様に2次医療圏で完結を目指す必要があり、その趣旨に沿って活動を行えたと思います。

当院がある県央2次医療圏は特定機能病院である大学病院やがんセンターのない地域です。がんに対する高度先進医療やがんゲノム医療など、われわれの医療圏ではできない治療はありますが、その中で、一般的ながん治療は地域医療機関内で十分な連携をと

り、完結したいと考えています。新年あけましておめでとうございます。今年も皆様にとって良い年になりますように心よりお祈りしております。

した。当院は、がんの診断、手術、化学療法、放射線治療のみならず緩和ケア（外来緩和ケア病棟入院、在宅緩和ケア）まで、どのようなステージの患者さんでも受け入れが可能で、その中で医療の質を担保しながら、手術のみならず、集学的治療や横断的医療ができるように努力してきました。その結果、さまざまな医療機関よりさまざまなステージのがん患者をご紹介いただき、個人個人に対してベストの医療はできたのではないかと考えています。本年も引き続き、特にがん治療は地域で連携をとり、地域で完結することを目指し、そのお役に立ちたいと考えています。

本年も東名厚木病院は地域医療支援病院として、誇りと責任を持ち、チーム医療でさらに医療の質を高く担保し、地域住民ならびに医療機関の皆様に一層信頼され、愛される病院を目指して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



『超高齢社会における医療・介護・福祉を考えるシンポジウム』開催

厚木市が目指す「地域包括ケア社会」の実現に向け、地域社会に対して保健・医療・福祉・介護を通じて貢献することを理念に掲げる三思会として責任を持って取り組んでいきたいとの思いの下、去る10月31日、厚木市文化会館小ホールにおいて、厚木市社会福祉協議会と共催し「超高齢社会における医療・介護・福祉を考えるシンポジウム」を開催しました。

基調講演「望ましい最期とは」では、「死を生きた人びと」の著者でもある小堀鷗一郎先生から、死を認めないのではなく、死と向き合ったところから自分らしい生き方や望ましい最期に繋がることなど、約400人を看取った経験を踏まえてのお話がありました。

続くパネルディスカッションでは、厚木市の医療・介護・福祉の第一線でご活躍の皆様から、救急医療について地域全体で考えていく必要があること、介護保険や医療保険の必要性を踏まえながら自助・共助についても考えていかなければならないこと、自分自身で準備できることとして任意後見制度等のお話があり、満員の会場からは活発な質疑もいただきました。



クリニカルパス大会



会」を開催致しました。クリニカルパスをより多くのスタッフに周知して頂き、積極的に作成、運用に係わって頂けるように開催を始めた大会もはや6回目となり感慨深いものがあります。

今回は新たに作成した腹腔鏡下結腸切除術のクリニカルパスを用いてグループワークを行いました。想定されたケースに対して実際にアウトカムを入力してみることで、評価者によって評価が異なることが明らかになった一方で、この事実について討議を行ったことによってクリニカルパスに対する理解を深めただけではなく、腹腔鏡下結腸切除術、さらには周術期管理に対する興味・関心がさらに深まったことが大きな収穫であったと感

じます。特別講演にお招きした山中先生も交えての討議となり、非常に充実したグループワークとなりました。

グループワークに引き続き、クリニカルパスの第一人者である若草第一病院院長の山中英治先生より「何かと使えるクリニカルパス」と題し特別講演を頂きました。私たちはクリニカルパスをやや堅苦しく考えがちでしたが、まず作成して運用して評価してみることで、それにより科学的根拠を取り入れるチャンスがあり、業務の軽減や多職種連携を進めるきっかけとなることなど、実例を含めて軽快にご講演を頂きました。

多くのスタッフのお陰を持ちまして、クリニカルパス大会は回を重ねる毎により充実した会となつてまいりました。クリニカルパス大会が当院のクリニカルパスの作成・運用を進めるものにとどまらず、よりよい医療を目指すための会の一つであり続けることを願ってやみません。

神山 公希



かけはし 登録医紹介

鳶尾診療所

vol.30



院長 佐藤 昭治



診療所の内観

《経歴》

昭和57年 北里大学医学部卒
平成2年 鳶尾診療所 開設

鳶尾団地で「鳶尾診療所」を開業しております佐藤と申します。

平成2年より内科・小児科、平成10年より眼科を併設いたしました。

内科、小児科、眼科とも特別な診療はしておりません。一般診療と、少数ですが在宅診療をしております。眼科は妻が担当しています。

《所在地》

〒243-0204
厚木市鳶尾2-25-2-106
TEL. 046-241-7100

平素より貴院には大変お世話になり、ありがとうございます。

病状が落ち着いた場合には逆紹介を頂いております。

これからも微力ながら地域医療に貢献できるよう努力してまいります。

地域の皆様の家庭医としてお役に立てば幸いです。

在宅懇談会

令和元年11月2日(土)に、第28回在宅懇談会を開催しました。今年度は「あなたならどーする？～人生の選択～」をテーマに掲げました。

自分らしい人生を送るうえで、様々な分岐点に立った際に何を基準に道を選択するのか？利用者様、ご家族と一緒に考えるきっかけをつくりたいと考え、緩和ケア認定看護師、がん総合外来の高瀬さんより「みんなで考えよう意思決定」の講演会を行っていただきました。

訪問看護ステーションさつき・もみじ、いわしぐものスタッフで事例をもとに寸劇を行い、グループ毎に懇談をしました。日頃の介護の思いを共感しあったり、参加者の皆様が大切にしている事を軸に意思決定について話し合いが進められ、参加者様、スタッフ共に充実した時間となりました。

後半ではよろず音楽隊による心温まる演奏で歌を唄い、会場は笑顔で溢れました。これからも、在宅生活を送る皆様の励みになるような懇談会を開催していきたいと思っております。



内視鏡センターだより

◎胃の検診や大腸がん検診で精密検査が必要と言われた方へ

当院では、対象者に対して受診当日の胃カメラや大腸内視鏡検査を行っています。

対象者はご本人又はかかりつけ医より当院、地域連携室までご連絡ください。その場で検査予約日の決定と注意事項の説明を致しますので、予約のための受診は必要ありません。女性の医師も在籍していますのでご希望の際は、相談下さい。

受診当日は、内視鏡センターで診察と検査に対しての同意書作成後、検査となります。ご連絡をお待ちしております

(連絡先) 東名厚木病院
046122911771 (代)

地域連携室まで

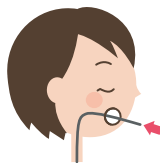
(月) 金 8:30～17:15
(土) 8:30～12:30

ただいま厚木市がん検診(胃内視鏡検査)受付中です。締切りが近づいていますのでお済みでない方は、早めに手続きをしましょう。予約・問い合わせは、とうめい厚木クリニックまでお願いします。

(連絡先) 046122911950

内視鏡センター

平井 弘子



令和元年 歳時一覽

1	主な院内行事 特別養護老人ホームはなの家とむろ開設7周年 愛川クリニック開設6周年 介護老人保健施設なでしこの里リハビリひらつか開設1周年 褥瘡ケアチーム主催 褥瘡セミナー 「褥瘡ケアにおける多職種連携 ～急性期医療から在宅医療まで～」 イブニングセミナー 「病は前前前世から」 院内症例検討会 BLS研修 東厚会秋冬旅行	講師：医療法人社団研医会 高岡駅南クリニック 院長 塚田 邦夫 先生 講師：高坂 佳宏 医師
	とうめい厚木クリニック開設17周年 Yangon Japan Medical Centre オープニング式典 東名厚木病院×Peer Ring 「笑顔塾」 「がん患者を取り巻く就労環境・現状と課題」ほか 院内感染対策講演会 「明日から活用できる臨床現場での抗菌薬の使い方」 摂食嚥下研修④ 「患者（利用者）主体の食事介助！明日から実践できる食事介助のイロハ」 防災訓練／トリアージ訓練 ICLS研修	講師：キャンサー・キャリア代表 砂川 未夏 先生 講師：医療法人社団緑成会 横浜総合病院 薬剤科 科長 佐村 優 先生
3	訪問看護ステーションもみじ開設20周年 とうめい綾瀬腎クリニック開設2周年 イブニングセミナー 「挿管困難症例に出会ったらどうする？」 職業倫理に係る研修会 「ハラスメントについて」 臨床研修修了式 安全・感染・倫理に関する研修会 中途採用者オリエンテーション BLS研修	講師：岩倉 秀雅 医師 講師：看護小規模多機能型居宅介護事業所いわしぐも 管理者 山田 豊美
	訪問看護ステーションさつき開設24周年 南毛利地域包括支援センター開設13周年 マザーホーム戸室開設3周年 入職式・歓迎会 新入職員オリエンテーション 平成30年度総括・平成31年度目標発表会 院内症例検討会 せん妄・認知症ケア勉強会 BLS研修	
5	第4回バス大会 「慢性硬膜下血腫のバスについて」 臨床病理検討会 診療部（各科）目標発表会 全館停電検査 BLS研修	
	東名厚木病院開院38周年 透析センター開設27周年 PNS活動発表会 第一事業部研修会 「現場の事例で学ぶ対人対応力向上の為のコミュニケーション術」 株式会社C-plan 代表取締役 小佐野 美智子 先生 イブニングセミナー 「がん治療用語の基礎知識 ～正しく知って最良の治療成果を目指す～」 呼吸ケア勉強会 献血 永年勤続 表彰式 ICLS研修 東厚会春季旅行	講師：神山 公希 医師
7	総合機能評価に係る研修会 「総合機能評価について」 市民公開講座 東名厚木病院×ハローワーク 「がん」と就労を考える」 「がん当事者のくらしと就労のお話」 ほか 摂食嚥下研修会① 「高齢者の肺炎について ～肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい～」 せん妄・認知症ケア勉強会 防災訓練／トリアージ訓練 東名厚木病院 納涼祭 中途採用者オリエンテーション	講師：西山耳鼻咽喉科医院 院長 西山 耕一郎 先生

8	BLS研修 東厚会春季旅行 居宅介護支援センター開設20周年 乳がん勉強会 「乳がんの知識と術後管理」 院内感染対策講演会 「ワクチンの最新情報」 イブニングセミナー 「海外渡航と医学」 臨床病理検討会 BLS研修 高校生1日看護体験	講師：射水市民病院 院長 島多 勝夫 先生 講師：川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦 先生 講師：安西 秀聡 医師
	介護老人保健施設さつきの里あつぎ開設22周年 東名厚木メディカルサテライトクリニック開院11周年 医療安全講演会 「毅然とした対応と共感 ～理不尽と感じた時の対応のコツ」 摂食嚥下研修② 「わかる！できる！口腔ケア」 糖尿病フットケア勉強会 「糖尿病足病変 up to date」 呼吸療法チーム勉強会 安全・感染・倫理に関する研修会 BLS研修 厚木市合同防災訓練 東厚会秋冬旅行	講師：山梨大学医学部付属病院 医療の質・安全管理部 特任教授 荒神 裕之 先生 講師：摂食嚥下療法科 課長 歯科衛生士 西川 利恵 講師：下北沢病院 糖尿病センター センター長 富田 益臣 先生
10	卒後臨床研修評価機構（JCEP）受審 社会医療法人社団三思会・厚木市社会福祉協議会主催 超高齢社会における医療・介護・福祉を考えるシンポジウム 基調講演「望ましい最期とは」 イブニングセミナー 「女性の腹痛について ～婦人科から伝えたいこと～」 医療福祉相談室主催講演会 「医療職が知っておくべき施設の特徴と種類」 せん妄・認知症ケア勉強会 献血 緩和ケア研修会 ICLS研修 東厚会秋冬旅行	講師：社会医療法人社団 堀ノ内病院 小堀 陽一郎 先生 ほか 講師：沼 美雪 医師
	第5回バス大会 「何かと使えるクリニカルバス」 医療安全講演会 「ヒューマンエラー ～理論と対策～」 2019年度糖尿病教室 「糖尿病とともに健康に生きる」 東名厚木病院居宅介護支援センター20周年記念勉強会 「『支える』～その人らしく生活すること～」 摂食嚥下研修③ 「高齢者の食事と栄養」 地域連携フォーラム 「最新のがん薬物療法とACT（アドバンス・ケア・プランニング）について」 臨床病理検討会 中途採用者オリエンテーション BLS研修 東厚会秋冬旅行	講師：若草第一病院 病院長 山中英治 先生 講師：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター NEC-産総研人工知能連携研究室副連携室長 中田 亨 先生 講師：地域栄養ケアPEACH厚木代表 管理栄養士 江頭 文江 先生 ほか 講師：日本医科大学武蔵小杉病院腫瘍内科教授・部長 勝俣 範之先生 ほか
12	新横浜メディカルサテライト開院4周年 第80回医療講座 「今、あらためて伝えたい乳がんのこと」 「口腔ケアのフンポイントアドバイス」 保険診療に関する研修会 「保険証の種別・初診時選定療養費について」 三思会活動発表会 BLS研修 三思会・厚仁会 忘年会	講師：鎌田 順道 医師 講師：摂食嚥下療法科 課長 歯科衛生士 西川 利恵 講師：医事課 主任 井出 紀美子

第2事業部

★20周年記念勉強会を開催しました★



東名厚木病院居宅介護支援センターは、令和元年8月に20年の節目を迎えました。その記念として、事業所初めてとなる勉強会を企画し、同年11月28日（木）『支える』～その人らしく生活すること～をテーマにグループワークを行いました。



医師、保健師、看護師、介護士、社会福祉士、理学療法士、歯科衛生士、福祉用具相談員他関係者の方々83名の参加となり、当事業所のケアマネジャーが取り組んだ事例紹介を参考に、「その人らしさを大切に、家族をも支える援助」について、各専門職の立場から活発な意見交換が行われ、援助の考え方や悩みなどを共有し有意義な時間となりました。

この勉強会を終えて、ケアマネジャーとして利用者その家族を支えるワンチームが大事であるとあらためて感じました。

居宅介護支援センター 三橋 悟



働く仲間

入職／2019年10月1日
氏名／**八木 美香**
リハビリテーション科
言語聴覚士



10月より入職しました言語聴覚士の八木です。言語聴覚療法分野でも特に摂食・嚥下障害領域に力を入れて参りました。皆様と共に患者さまを支えていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

休日はずっとアウトドア希望のインドア派でしたが、ここ数年はスポーツ観戦をしたり、体を動かしたりアクティブに過ごしています。最近ではジャパンカップサイクルロードレース観戦に行き、とても迫力のあるレースを体感してきました。

あと数年後と思っていた東京オリンピックも、いよいよ今年開催されます。日本全体が盛り上がり、歴史的な記録が生まれることを期待しながら楽しみたいと思います。

入職／2019年4月1日
氏名／**武井 まどか**
薬剤科
薬剤師



当院で薬剤師として勤め始めてから今日まで、毎日新しい学びがあり、充実しています。

私は大学時代の実務実習で、先輩薬剤師の豊富な知識と経験、多職種間の距離の近さに魅力を感じ、当院への就職を希望しました。

8月からは地域包括ケア病棟で退院に備える患者さんの薬学的なサポートを行っています。特にやりがいを感じるのは、私の説明でお薬について理解していただけた時です。多職種の方々と関わりながら患者さんの要望や状態を考慮した処方提案をしていけたらと考えています。

不安なこともあります。常に気にかけて下さる先輩や何でも相談できる同期に支えられ、患者さんのためにできることを考えながら少しずつ成長していきたいと思っています。

リハビリ通信 第50回

「生活不活発病」とは…

少し冷えてきた今日ですが、少し前まで台風や大雨により多くの地域が被害に見舞われ、厚木でも水害の危険性から避難された方もいらっしゃると思います。災害はいつ起きるかわかりません。そんな時に気を付けていただきたいことがあります。避難所の生活は、動き回ることが不自由となり動く機会が低下し、心身の疲労もたまりまします。また、家庭での役割ができず近所づきあいも狭くなり、「動かない（生活不活発）」状態が続くようになります。その状態が長く続いて、心身の機能が低下し動けなくなること「生活不活発病」といいます。今回は厚生労働省が推奨している内容をご紹介します。

① 避難生活における予防のポイント

① 毎日の生活で活発に動く：横

になるより座りましょう
② 身の回りを片付けて、動きやすくしましょう
③ 動きにくくなっても、杖などで工夫しましょう
④ 避難所でも楽しみや役割を持ちましょう
⑤ 「無理は禁物」「安全第一」と思い込まず、疲れやすいときは少しづつ回数を増やして、病気の方は動く量を相談しましょう。

生活不活発病発見のポイント

厚生労働省が作成した生活不活発病チェックリストをみてみると、「災害前から要注意にあてはまる方」に対して、保健師・救護班・行政や医療機関への相談を薦めています。
① 屋外を一人で遠くまで歩けない
② うちの中を動くとき何かにつかまったり人に手伝ってもらう。一人で動けない
③ お風呂やトイレなど身の回りの行為で、外出時に困ったことがある
④ 車椅子を利用して
⑤ 外出の回数が少ない
⑥ 家の中で過ごすか、横になっていることが多い

平時の時こそ、避難準備だけでなくご家族や近所の方と災害について話してみませんか？

リハビリテーション科

中橋 真弓



糖尿病教室を開催しました

11月16日、東名厚木病院にて第4回糖尿病教室を開催しました。この教室は、地域の方々に糖尿病の知識を深めてもらうとの目的で、11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせて定期開催しています。

当日は、リズム体操で体を動かしリラックスしたあと、患者様の療養体験や医師による最新情報を聴き、糖尿病食の調理動画をご覧いただきました。「見る・聴く・体感する」プログラムの中で、何らかの健康へのヒントを持ち帰っていただけたように思います。

来年度も多くの方にご参加いただけることを楽しみにしています。

(三思会糖尿病チーム一同)



忘年会

令和元年12月14日、レンブラントホテルにて三思会・康仁会忘年会が開催されました。今年も大勢の職員が参加し、互いに労をねぎらいました。

職員によるバンド演奏、毎年恒例の研修医の先生方による催し物、多職種合同の催し物はこのグループも衣装や装飾に拘っており、質も高くとても盛り上がりました。

最後の抽選会では豪華な景品に歓声が上がり、皆が抽選番号を見ては一喜一憂していました。が、当選者へ拍手が送られとても楽しい時間となりました。



編集後記



● 昨年の初詣は寒川神社に行きました。今年初詣に行った時は、気の利いた編集後記をすらすら書けるよう心の片隅で願掛けしておこうと思います。(里うさぎ)



● LEDの発明により冬の様相が大きく変わったように思えます。イルミネーションの中に身を置き、異空間を味わって来ました。(クッキー3)



● 食事に行った先で、レインボーチーズケーキを見つけて興味本位で食べてみました。パッションフルーツのような味でしたが、美味しかったです☆ (バナ男)



● 冬のアイスの季節がやってきました。流行語にもなった?!アイスで「タピる」のがオススメ。シャリシャリしたタピオカとミルクティーのビューティフル・ハーモニー。令和二年もよろしくお願いいたします。(とんぼ玉)



● 近隣にキャラクターミュージアムがオープンですね、最寄り駅もリニューアル工事が済んで開放感のある駅に変わっていました。(リトルミイ)



● 変わった果物にととき挑戦しています。見た目が名前の釈迦頭。別名シュガーアップル!名のおり甘甘。今年もたくさんのフルーツに出会えますように♪ (豆大福)



ペットのはなし

その60

我が家の愛犬、コロック。白の雑種犬なので、揚げる前のコロックをイメージして付けた名前だと思います。この子が我が家に来た16年前、当時8歳の私は何を思ったのかそんな名前を付けたそうです。



コロックは生後2か月の時、知り合いから譲り受け、我が家に来ました。家に向かう車の中で撫でてあげると、おどおどしながらゆっくりと私の手を舐めていたのをうっすらと覚えています。

家に来てからは、散歩に行くのが嬉しすぎるのか飛び跳ねてしまい、リードを首輪につけるのも一苦勞。リードを無事に付けた後も、ものすごい力で私を引っ張っていくので、最初はいつも小走りになっていました。ぐいぐい行くのに他のわんちゃんを見つけるとすぐに私の後ろに隠れるびびりなところは、誰に似たのか…。元気でびびり



な彼も歳をとり、散歩も10分で疲れてしましますが、あの頃と変わらずに家族が帰ると大きな声で吠えて喜んでくれます。かわいい弟の話でした。リハビリテーション科 柳川

各施設の連絡先

東名厚木病院

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

とうめい厚木クリニック

〒243-0034 厚木市船子237
TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935
<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

透析センター

〒243-8571 厚木市船子232
TEL.046-229-1771 FAX.046-229-1939
<https://www.tomei.or.jp/toseki/>

愛川クリニック

〒243-0303 愛川町中津2035-1
TEL.046-284-5225 FAX.046-284-2772
<https://www.tomei.or.jp/aikawa/>

とうめい綾瀬腎クリニック

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-8-20
TEL.0467-70-1115 FAX.0467-70-2115
https://www.tomei.or.jp/ayase_clinic/

東名厚木メディカルサテライトクリニック 健診センター

〒243-0034 厚木市船子224
TEL.046-229-1937 FAX.046-227-0677
<https://www.tomei.or.jp/tams/>

新横浜メディカルサテライト 健診センター

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-11 金子第一ビル4F
TEL.045-471-3855 FAX.045-471-3856
<https://syms.tomei.or.jp>

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ

〒243-0034 厚木市船子322-1
TEL.046-227-1188 FAX.046-227-0033
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/roken/>

介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか

〒254-0016 平塚市東八幡4-19-3
TEL.0463-23-7045 FAX.0463-22-4187
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/nadeshiko/>

厚木市南毛利地域包括支援センター

〒243-0039 厚木市温水西2-27-38 カーネーションパーク1階
TEL.046-250-1108 FAX.046-250-1105
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/houkatu/>

訪問看護ステーション さつき

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-228-6556 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/satuki/>

訪問看護ステーション さつき サテライト愛川

〒243-0303 愛甲郡愛川町中津3529 スズキビル2F 202号室
TEL.046-284-6677 FAX.046-228-6688

東名厚木病院居宅介護支援センター

〒243-0034 厚木市船子131-1
TEL.046-227-6557 FAX.046-228-6557
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/kyotaku/>

複合型施設マザーホーム戸室

〒243-0031 厚木市戸室1-29-1
<https://www.tomei.or.jp/fukushi/motherhome/>

1F 多機能型事業所「にじいろ」

TEL.046-222-7772

看護小規模多機能型居宅介護事業「いわしぐも」

TEL.046-222-7773

2F 訪問看護ステーション「もみじ」

TEL.046-294-1177 FAX.046-294-1178

3・4F サービス付き高齢者向け住宅「マザーホーム戸室」

TEL.046-222-7755 FAX.046-222-7756



● 無料送迎バスを運行しています。

詳しくはホームページの無料送迎バス時刻表をご覧ください。
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>